

# 令和7年度 ママさんバレーボール ルール改定について

令和7年 3月16日(日)

## <名称変更>

令和6年度

令和7年度

ママさんバレーガイドライン2010

→

**四国ママさんバレーボール連盟競技規則**

## <用語変更>

プレイヤー交代 → **メンバーチェンジ**

ウォーミングアップ

→ **公式練習**

チェンジコート → **コートチェンジ**

## <チーム・チーム役員>

- ・ユニフォームについて
- ・アクセサリーについて
- ・副監督について
- ・キャプテンについて

## <競技・審判 改定>

- ・ドリブル（一部）について
- ・サービスの許可について
- ・サービスオーダーの違反について（プレイヤー）
- ・サービスオーダー違反について（審判）
- ・メンバーチェンジについて（審判）
- ・ワンタッチについて（審判）

## 競技規則外決定事項について

### ～ゲーム編～

- ・サポーターについて
- ・アクセサリーについて
- ・アンダーウェアについて
- ・ワイピングタオルについて

### ～審判員編～

- ・公式練習の手順
- ・ボールのネット下通過のシグナル（主）
- ・タイムアウト手順（副）
- ・メンバーチェンジの手順（副）
- ・セット間移行手順（副・記）
- ・キャプテン及びゲームキャプテンの申告（主・副）
- ・記録席の位置
- ・点数の入れ間違いの手順
- ・審判員の記入の仕方

～ゲーム編～

項目	ガイドライン記載事項	四国ママさんバレーボール連盟競技規則
チーム編成	P10 一般社団法人全国ママさんバレーボール連盟に有効に登録されたチーム役員とプレーヤーで編成されたチームであること。	香川県及び、四国ママさんバレーボール連盟に登録されたチーム役員とプレーヤーで編成されたチームであること。
チームの服装	P10 記載通り 第2項	デザイン統一とし、半袖、長袖は問わない。ユニフォームの裾の処理はチームに一任する。(乱れた感じにならないように配慮を求める) 気になる場合は、主審がキャプテンに促す事が出来る。
禁止される物	P10 第3項 1.怪我の原因となるようなアクセサリ（ヘアピン、ピアス、ネックレス、ブレスレット、腕時計等）或いは、プレーヤーに有利になるような物をつけることは禁止とされる。	アメピン、シュシュ（派手でないもの）使用可能
監督	P12 第1項 4.ゲーム中断中に、プレーヤー交代とタイムアウトの要求に権限を有するが、副審に立ってシグナルで要求しなければならない	立って口頭とシグナルで要求しなければならない。
副監督	P12 第2項 記載通り	マークは「副」又は「C」問わない。
キャプテン	P12 第3項 記載通り	ゲーム中キャプテンがコートから出る場合、ゲームキャプテンを主審、副審のいずれかに申告する。この時主審、副審はキャプテンに挙手を求める事が出来る。
ワンタッチ	P20 第3項 1. 記載通り	主審、副審、線審は、カウントに関わらず、ワンタッチのシグナルを示す。
ドリブル（一部）	P22 3 プレーヤーが1度目のボールヒットの後、連続しての2度目のボールヒットは反則となる。 反則名：ドリブル	ブロック後、同じプレーヤーが続けてそのボールに触れてもドリブルではないが、接触回数のカウントに含まれる。
サービスの許可	P28 第3項 主審は両チームのプレーヤーがラリー開始への準備を整え、サービスプレーヤーがサービスゾーンでボールを保持している状態を確認したとき、笛でサービスの許可をする。	サーバーはサービスゾーン外で構えて良い。但し、サービスヒットの瞬間がサービスゾーン内でなければ反則とする。 反則名：フットフォルト ※図①参照

項目	ガイドライン記載事項	四国ママさんバレーボール連盟競技規則
サービスオーダー違反	P30 1.①～③、2.①～②記載通り 第6項 ※ 誤りに気づき、トスを上げてヒットしなければ、正しいサーバーに代われる（但し、サーブはセカンドからとする。） この時、キャプテンは正しいサーバーの確認は出来ない。 ※副審側のサイドライン、延長線上の踏み越しに気づいたとき副審は吹笛出来る。この時L1またはL3もラインクロスでシグナルを示す。	サービスオーダー違反はサービスを打った瞬間に成立する。 主審がキャプテンへの説明を行うとき、 <u>副審も立会う</u> 手順は以下の通りとする。 1. 記録員から説明を聞き、サービスオーダーを持ち、反則側コートを通り、主審のところに行く。 2.主審に伝達「正しいサーバーは○番でした。次のサーブは○番からです。」 3.主審は両キャプテンを呼ぶ 副審は、主審がキャプテンへの説明を行うとき立会う 記録員はこの間に、サービスオーダー違反を記入する。 4.両キャプテンに説明終了後副審は元に戻る。 5.主審は吹笛しポイントを示す、副審は追従、記録員はサービスオーダー違反時の得点の仕方で記入する。
メンバーチェンジ	P34 第3項 1～4 記載通り 第4項 1～3 記載通り	副審はプレーヤー交代後、サービスオーダーに記入する。 ※ 別途説明

競技規則外決定事項

～ゲーム編～	競技規則外決定事項
サポーター	手首～手のひら、指に関してはテーピングのみ対応とする。 やむを得ずサポータを使用する場合、主審、相手チームの承諾を得る。 腰用コルセットはユニフォームの内外を問わない。
アンダーウェア	チームで色の統一とし、襟、袖の種類は問わない。
ハーフパンツ	チームで色の統一とし、ワンポイントの種類は問わない。ラインに関しては統一する必要がある。
アクセサリ	装着出来ないものとする。但し、突起物なしの結婚指輪、スポーツ用ネックレス(金具なし)は認めるが 損傷、破損等は自己責任とする。
ワイピングタオル	腰に差込み使用可能とする。
～審判編～	競技規則外決定事項
公式練習	3分ずつの公式練習時、どちらかのチームが3分の公式練習を使用しない場合は3分を待たなくて良い。
ハンドリングの反則	反則のシグナルを示し、反則をしたチーム、プレーヤーを指す(主・副)
ボールのネット下通過	シグナルを示す : ネット下を指さず 図②参照
タイムアウトの手順 (副・記)	開始時：吹笛→シグナル・コートを示す→計時 終了時：吹笛→ボールを流す→OKのシグナル 2回使い切りの時 開始時：吹笛→シグナル→計時→主審へシグナルを用いて伝達 終了時：吹笛→ボールを流す→監督または、キャプテンに伝達→OKのシグナル 副審は、主審の追従中に監督または、キャプテンから、タイムアウトの要求があれば、その要求を優先する。
メンバーチェンジの手順 (副・記)	副：吹笛→プレーヤー交代→サービスオーダに記入→記録員の合図で主にOKのシグナル 記：プレーヤー交代を確認→片手を上げる、下ろす→プレーヤー交代記入を完了させ副審へOKのシグナル 複数のプレーヤー交代時、1組ずつ手続きを完了さす。 副審は、主審の追従中に監督または、キャプテンから、メンバーチェンジの要求があれば、その要求を優先する。
セット間の手順 (副・記)	記録員は、2S目の開始時間、サーブ権のA / B を○で囲み待機 副審は、2S目のスターティングメンバーを監督または、キャプテンに確認する→記録員に伝達 記録員は、副審より2S目のメンバーを記入する。

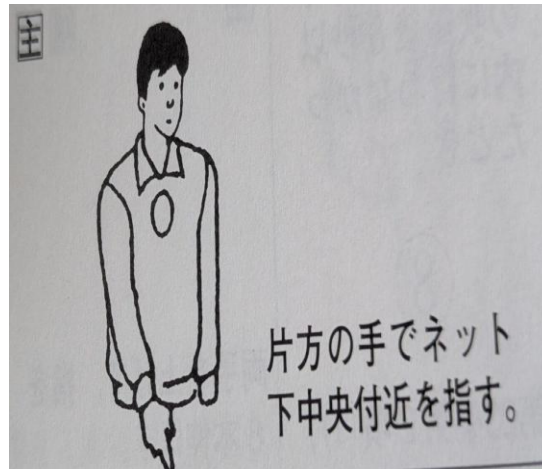
～審判編～	競技規則外決定事項
ゲームキャプテンの申告 (主・副)	コートからキャプテンが交代の時、ゲームキャプテンを申告する。この時ゲームキャプテンのプレーヤーは挙手にて主審または副審に知らせる。
記録席の位置	主審から見て、左側とする。
点数の入れ間違いの記入 ※図③参照	入れ間違った「/」に重ねて「=」二重線で訂正し、新たに「\」重ねて逆斜線を記入して訂正を完了さす。
記録用紙記入の仕方 ・時刻の記入 ※図④参照  ・各審判員氏名記入欄 ※図⑤参照	<p>セット開始、終了の記入 例「開始 10 : 05 終了 11 : 07」</p> <p>試合時間の記入は1時間を超えてない場合、記入しなくて良い 「 試合時間 0 時間 53 分 」 不要</p> <p>香川県内大会 氏名 / チーム名 の記入する。 県外大会 氏名 / 香川県(県名)の記入する。</p>

※図 ①



フットフォルト シグナル

※図 ②



ネット下通過 シグナル

※図 ③

ピンス順	プレーヤー ナンバー	サービスの順 のチェック		
		1	2	3
1				
2				
3				
4				

得点入れ間違い記入

3  
↓  
3 二重線  
↓  
3 逆斜線

※図 ④

試合結果		
勝ちチーム名		負チーム名
	2 [ — ] [ — ] [ — ]	
試合時間	時間	分

↑  
記入しない

※図 ⑤

主審		
副審		
記録員		
線審		

↑                    ↑  
氏名                    チーム/県名